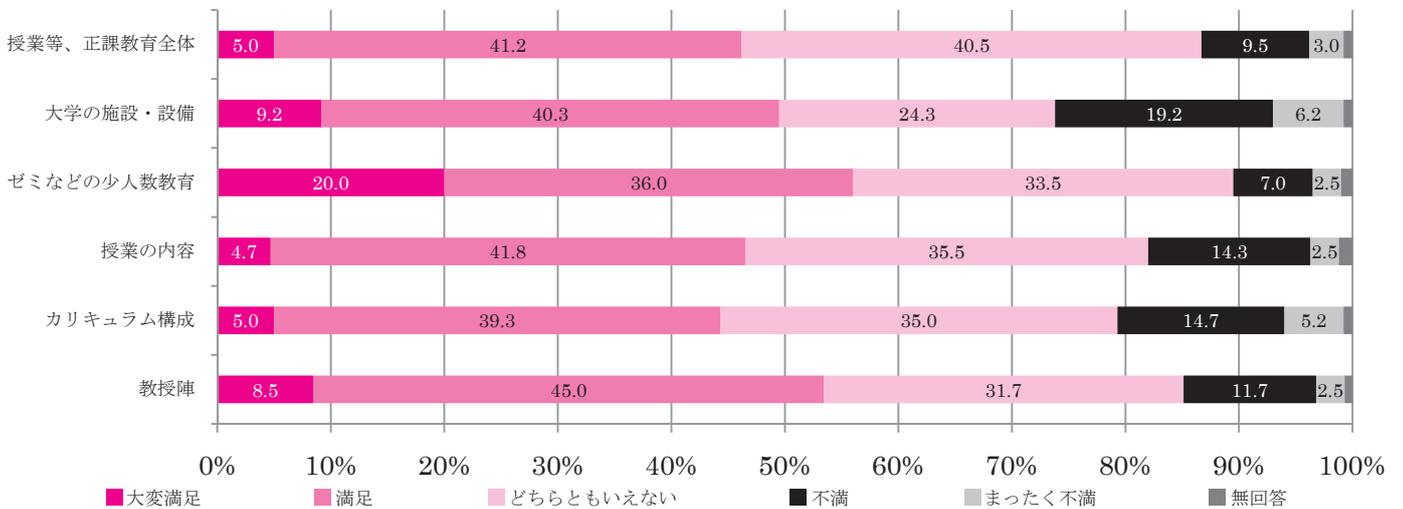


# V 正課教育

- ◆ 教授陣の満足度が・・・  
中大生全体で41.3%から53.5%へ大幅に向上
- ◆ 履修登録で重要視するのは・・・  
『講義の時間帯』『知的刺激がある』『面白く楽しい授業』

## Q32. 満足度

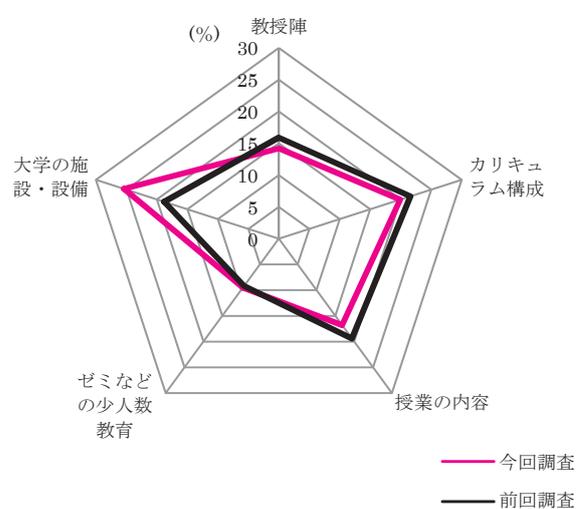
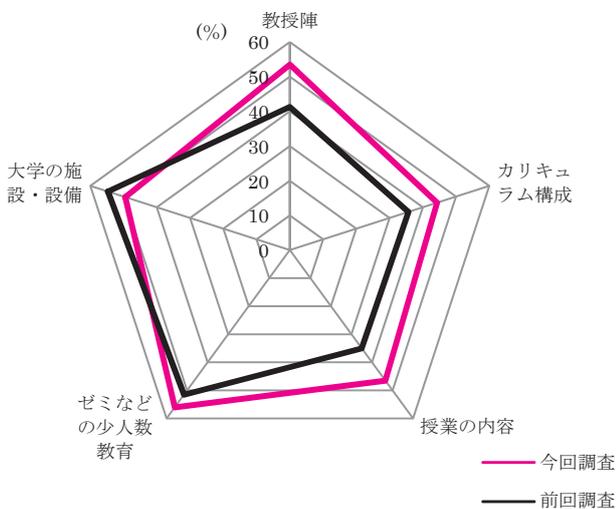
今回調査では、「教授陣」の「大変満足」＋「満足」が、前回調査の41.3%から53.5%に大幅に増加したように、基本的には満足度が向上していると言える。ただし、「大学の施設・設備」の項目だけは、「不満」＋「まったく不満」が前回調査の18.8%から25.4%となったことは看過できない。



### 項目別満足度グラフ

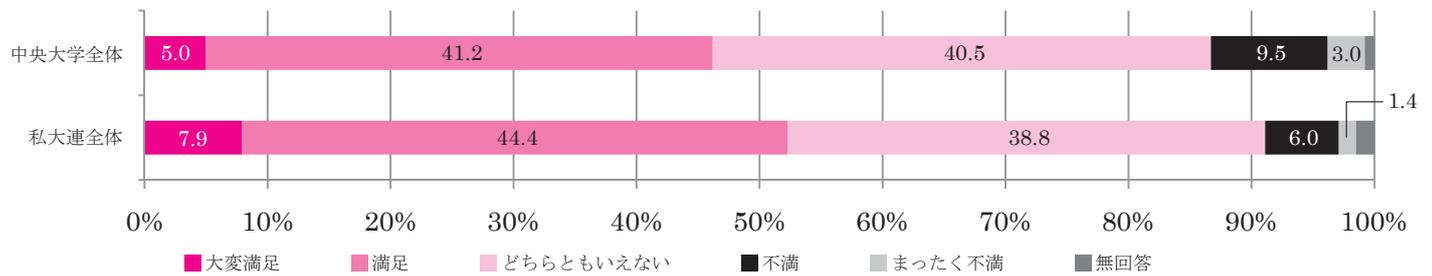
(「大変満足」＋「満足」)

(「不満」＋「まったく不満」)

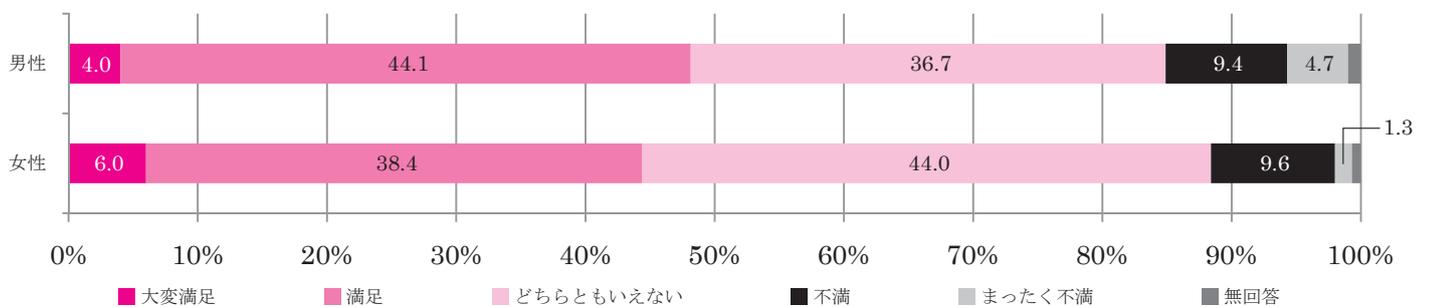


### Q32-6 【授業等、正課教育全体】について

本学全体での満足度は、私大連全体と比較して、「大変満足」+「満足」が低く、「不満」+「まったく不満」が高い結果となった。

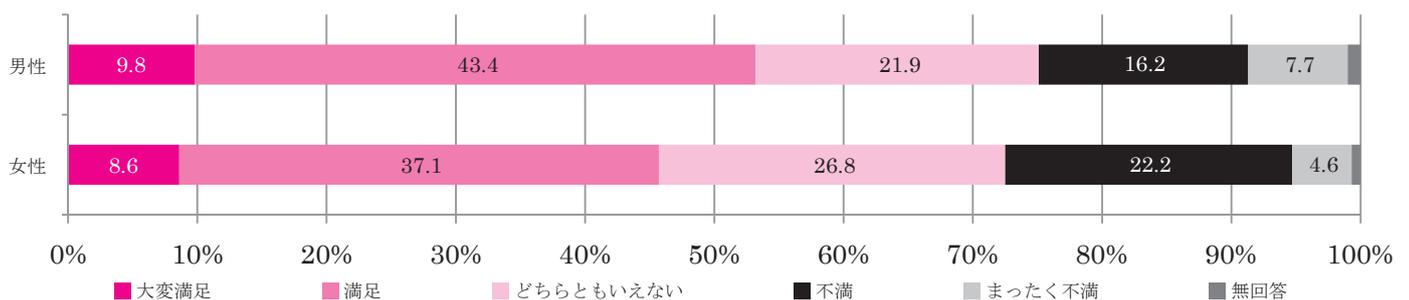


男女別では、男子学生は「大変満足」+「満足」（48.1%）の割合が高い結果となった。一方、「不満」+「まったく不満」（14.1%）の割合も高い結果となった。



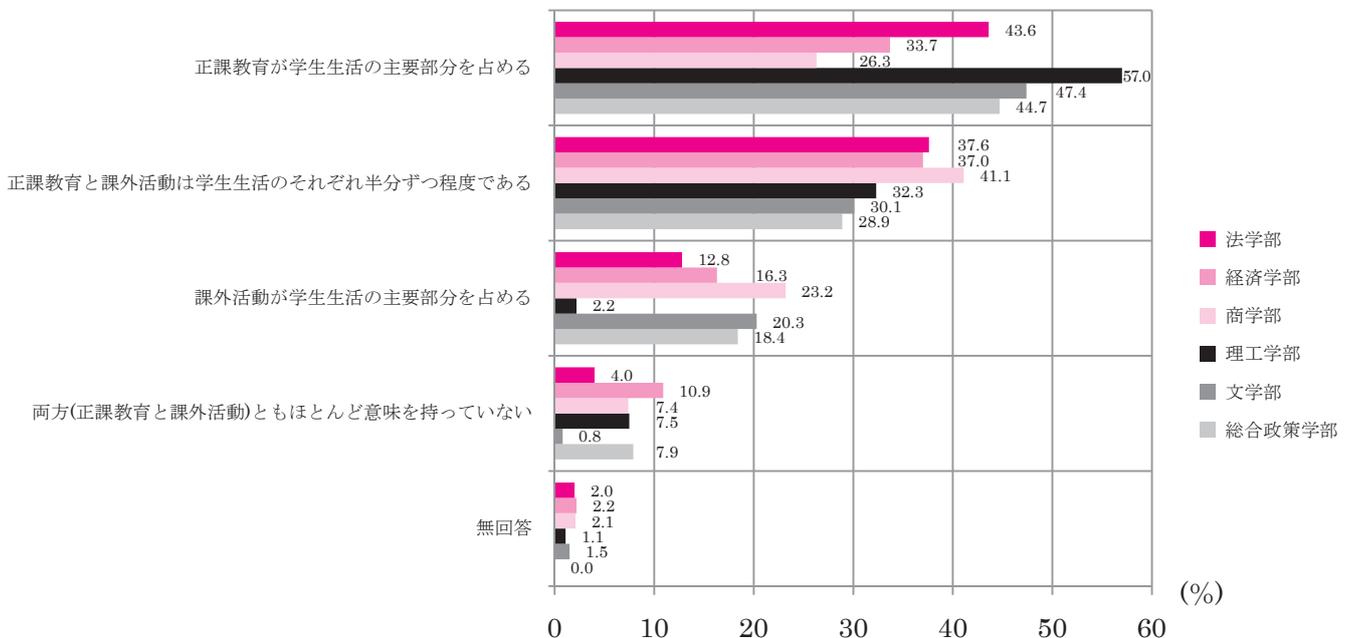
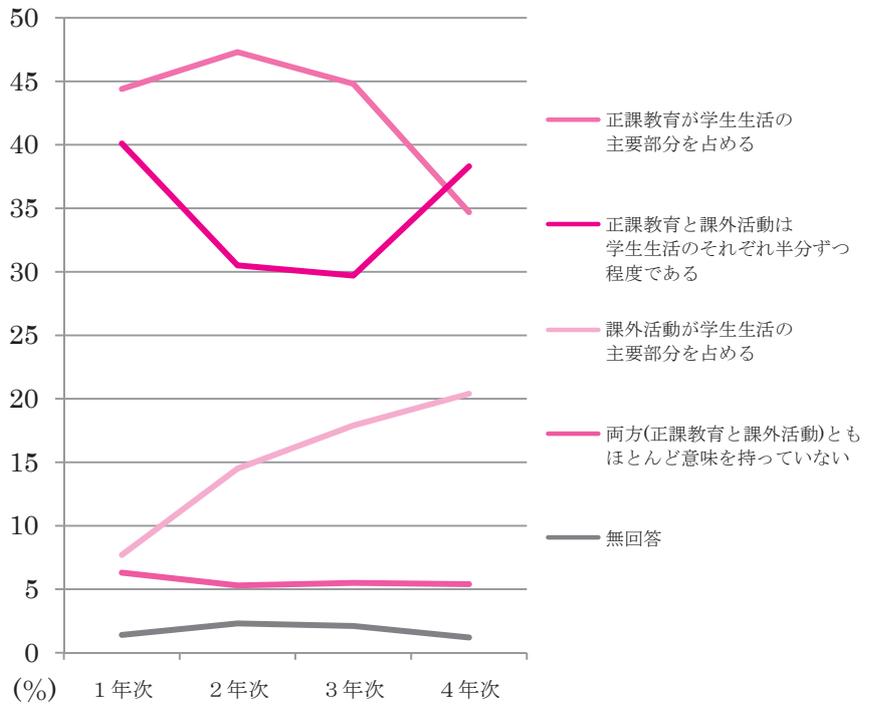
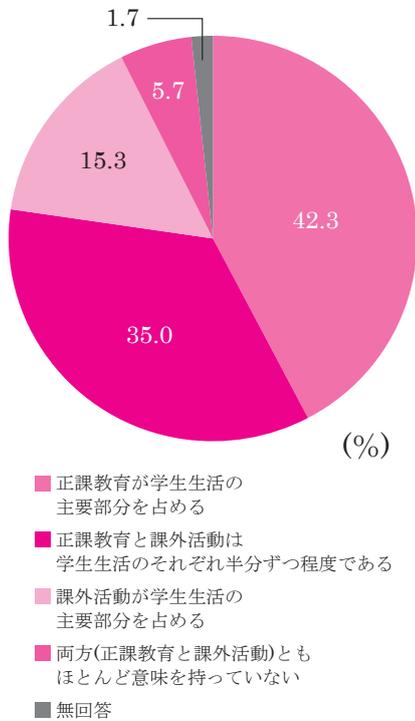
### Q32-5 【大学の施設・設備】について

男子学生は「大変満足」+「満足」（53.2%）の割合が高い結果となり、女子学生は「不満」+「まったく不満」（26.8%）の割合が高い結果となった。



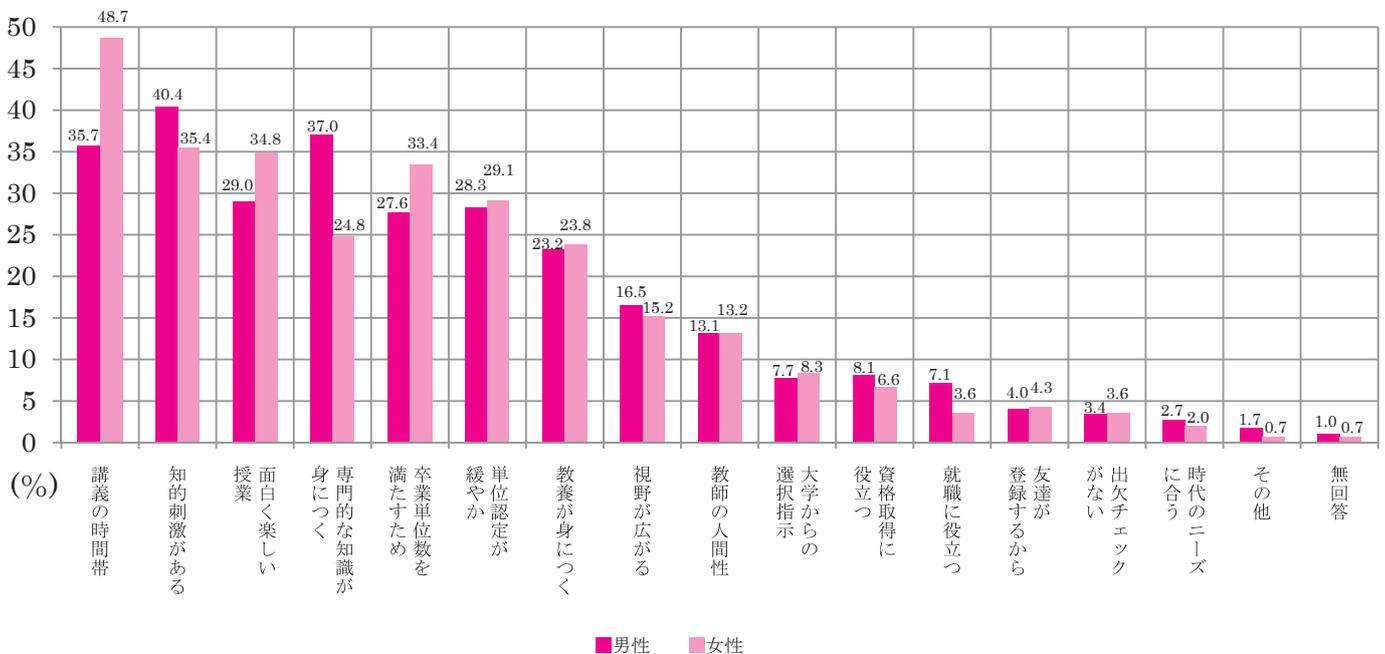
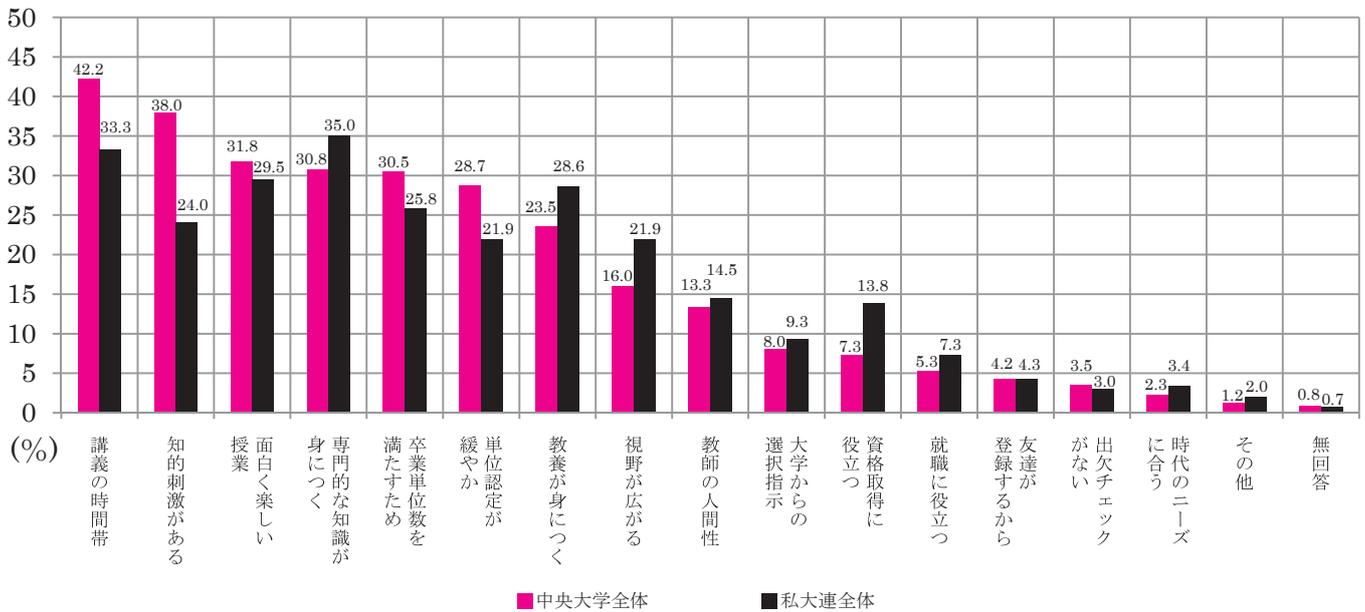
### Q33. あなたの学生生活において、正課教育と課外活動（クラブ、サークル活動、ボランティアなど）はどのような意味を持っているか。

今回調査では、「正課教育が学生生活の主要部分を占める」の割合が一番高い。この傾向は、前回、前々回調査と同様である。学年別にみると、年次が上がるにつれて、「正課教育が学生生活の主要部分を占める」割合が低くなり（1年次 44.4%→4年次 34.7%）、「課外活動が学生生活の主要部分を占める」割合が高く（1年次 7.7%→4年次 20.4%）なる。



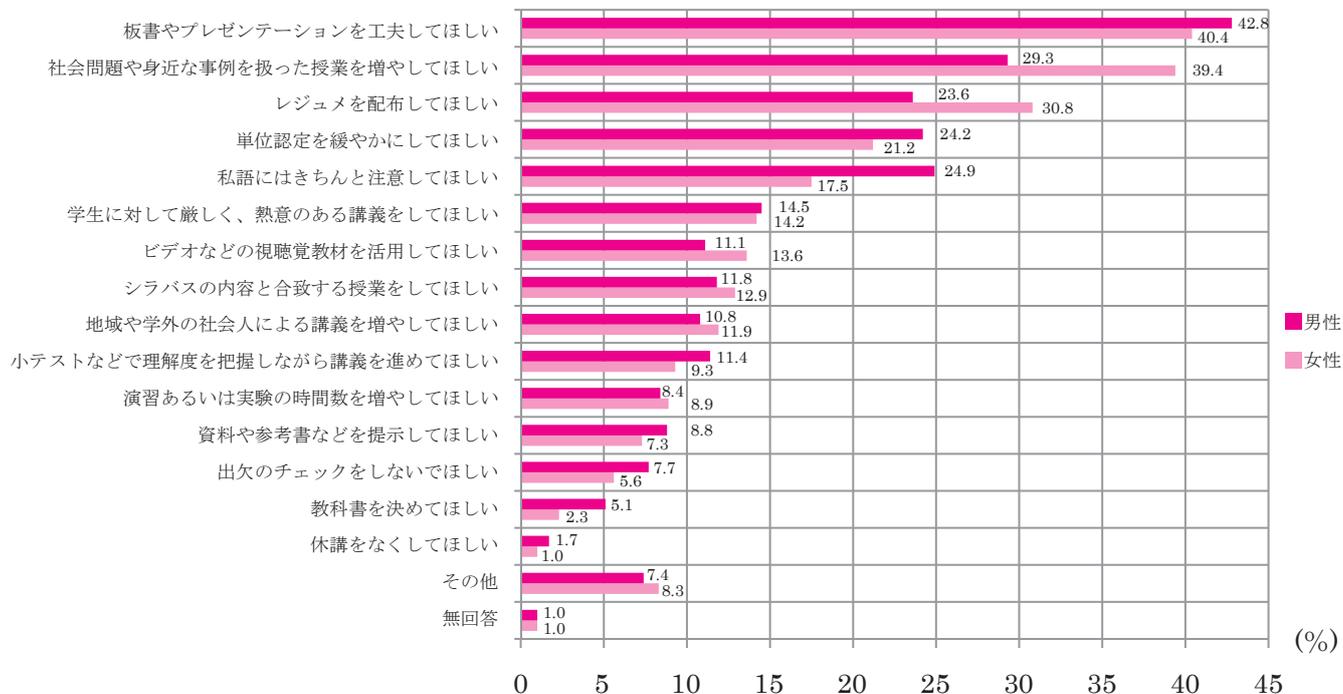
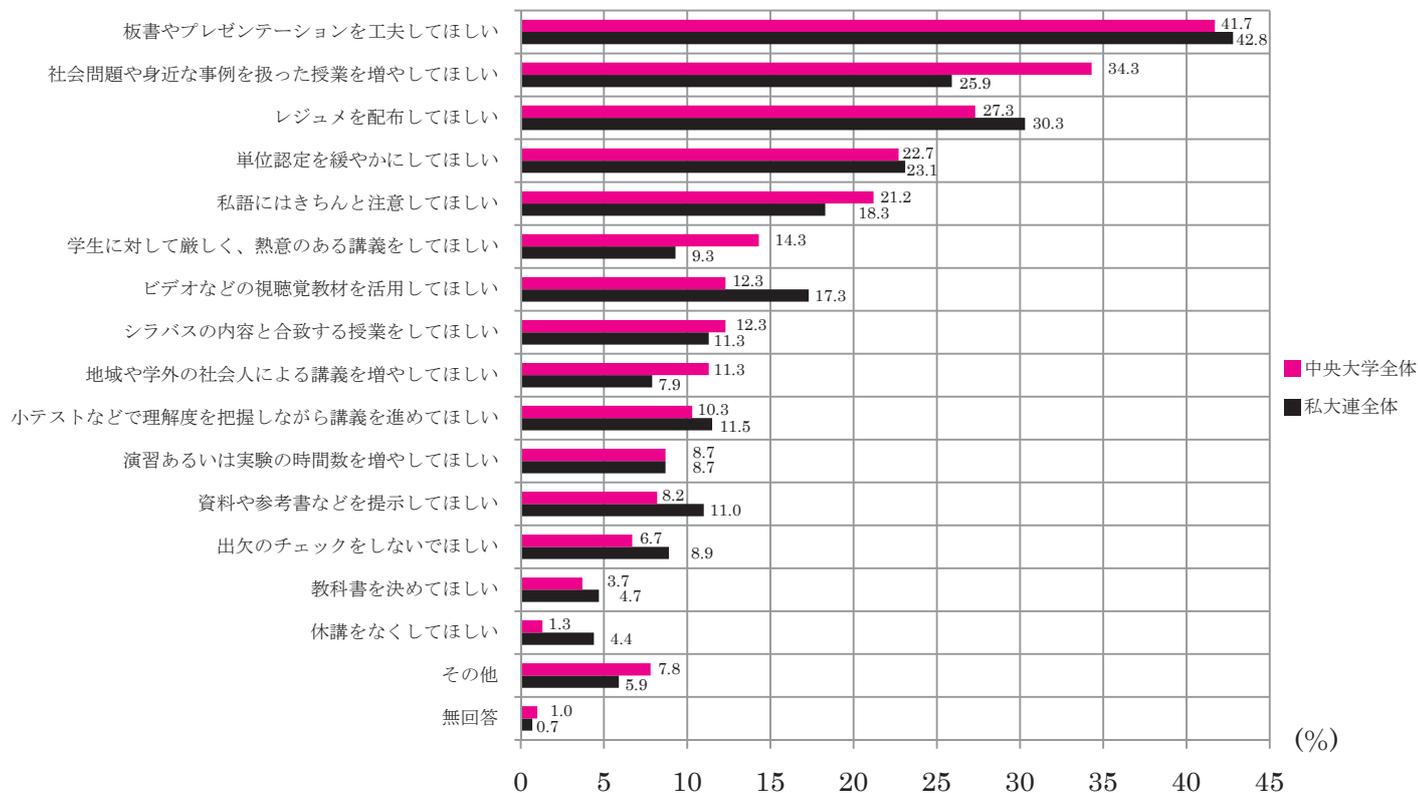
## Q34. 科目を履修登録する時に、重視する要因は何か。(3つまで選択)

本学全体では、「講義の時間帯」が最も重視する項目(42.2%)となったが、私大連全体では「専門的知識が身につく」が最も重視する項目(35.0%)となった。男女別において最も高い割合は、女子学生は「講義の時間帯」(48.7%)であったが、男子学生は「知的刺激がある」(40.4%)であるように、男女別に特徴があった。



## Q35. 講義について希望することは。(3つまで選択)

本学全体では、「板書やプレゼンテーションを工夫してほしい」が最も重視する項目となったが、前回調査（47.3%）から割合が低くなり、要望が分散化されてきた傾向にある。



## Q36. 大学の教育内容や方法に対する期待や要望にはどのようなものがあるか。 (3つまで選択)

本学全体では、「多様な科目選択ができるカリキュラムにしてほしい」が前回調査（38.3%）と比較して低くなったが、割合としては最も高い結果となった。

今回調査において、前回調査で2番目に割合が高かった「授業時間数または必要単位数を少なくしてほしい」（前回調査比：5.6ポイント減）が6番目となり、「他大学との単位互換の制度を作るか、さらに制度を広めてほしい」（前回調査比：1.9ポイント増）が8番目から5番目となったように、期待や要望に変化がみられた。

